

# 会議結果報告書

令和元年6月27日

会議の名称	令和元年度第1回志木市健康づくり市民推進協議会
開催日時	令和元年6月27日(木) 午後2時～4時
開催場所	志木市役所 2階 研修室
出席委員	山下和彦会長、中村勝義副会長、田中節子委員、前野房子委員、宮下博委員、荒野壽子委員、星野賢委員、細沼明男委員、鈴木正憲委員、宮澤和子委員、増田康太委員、西和江委員、田代健委員 (計 13人)
欠席委員	鎌田昌和委員、宮本日出委員、妙智豊子委員、野浦康亘委員、田中由香委員、齋地満委員、大熊啓太委員、山本美紀委員、飯田順一委員 (計 9人)
説明員職氏名	伴恭臣健康政策課主査、杉田明子健康増進センター副所長、今野美香健康福祉部参事兼子ども家庭課長 (計 3人)
議題	(1) 志木市いろは健康21プラン(第4期)の策定について (2) 市民のこころと命を守るほっとプランについて (3) その他 第2期志木市子ども・子育て支援事業計画策定方針案
結果	別紙、審議内容の記録のとおり (傍聴者 0人)
事務局職員	豊島俊二(健康福祉部次長) 今野美香(健康福祉部参事兼子ども家庭課長) 清水裕子(健康政策課長) 志田真由美(健康政策課主幹) 伴恭臣(健康政策課主査) 高山佳明(健康政策課主査) 大野広幸(健康増進センター所長) 杉田明子(健康増進センター副所長)

審議内容の記録（審議経過、結論等）

1 開 会

2 委嘱状交付

3 市長あいさつ 香川武文 志木市長

4 委員自己紹介

5 職員自己紹介

6 会長・副会長選任 山下和彦会長、中村勝義副会長が選任された。

7 会長・副会長あいさつ 山下和彦会長、中村勝義副会長

8 議 題

(1) 志木市いろは健康21プラン（第4期）・食育推進計画（第2期）・歯と口腔の健康プラン（第2期）の概要について

(2) 志木市自殺対策計画「市民のこころと命を守るほっとプランについて」について

事務局より「志木市いろは健康21プラン（第4期）・食育推進計画（第2期）・歯と口腔の健康プラン（第2期）」の概要説明を行った。次に、志木市自殺対策計画「市民のこころと命を守るほっとプラン」の概要説明を行った。

(3) その他

第2期志木市子ども・子育て支援事業計画に、母子保健計画が位置づけられているため本会で報告する。

【～会長よりスライドを用いて講義～】

質疑応答

委 員：館地区の要介護認定率が低い理由としては何が考えられるか。館地区の健康意識が高い、スポーツクラブがある。いろは百歳体操を実施している場所が4箇所ある。ノルディック・ポールウォーキングの自主サークルがある。そういった理由もあるかと思うが、会長の考えを伺いたい。

会長：活動する場所があることは大きい。積み重ねが大事なので、食なども含めてつながりを作っていく場所を作ること、活動を続けてもらうことが効果的だと考えている。

9 意見交換

会 長：各委員より意見をいただきたい。

委 員：いろは健康ポイント事業の歩数計を利用しており、1日1万歩を目標にしている。始めてから病院にかかる機会が減ったと感じているので、歩くこと、減塩を意識することの効果を実感している。続けていきたい。

委員：木曜会でポールウォーキングを実施している。月3回山登り活動をしており、歩数計も活用している。

委員：いろは健康ポイント事業に参加している。楽しく活動していけるよう、みんなに追いつけるように続けたい。食生活改善推進員には、男性が所属している。健康には食事も大切ということを伝えていきたい。

委員：町内会として、市への協力と親睦を深める活動をしている。志木四小「もくせい」の運営を通して、子どもの居場所づくり、場づくりの大切さを実感している。「あの人、大丈夫？」の関係づくりが大切だと考えている。

委員：民謡流し、体育祭、共同募金などの活動をしている。情報発信していくことが必要だと感じた。

委員：体育協会26団体あるが、周知活動が必要と感じている。少年団、中学校・高校の部活、その後、社会人になったときのフォローを多様な形態でできるようにしたい。複数団体が縦割りから、横のつながりで参加できるように工夫したい。

委員：国民健康保険の重要事項を12名で運営協議している。一般会計からの繰り入れを減らすこと、健康で医療費がかからないように進めている。町内会、地域への情報発信ができるように工夫が必要。

委員：民生委員として、認知症声かけ訓練「命のひと声訓練」、熱中症対策、災害対策、高齢者の独り暮らし住まいの見守りなどに取り組んでいる。民生委員は行政とのパイプ役なので、役割を周知したい。

会長：互助「助けて」といえる関係づくりを進めていくことが大事。

委員：志木二小でサロンを実施している。みなさんに支えられて20年になったが、30年、40年になるようにしていくことが目標。来てよかったと思えるようなサロンにしていく。

会長：まちの居場所は、これからも大切になる。軽度の要介護なら通えるような場所になって欲しい。

委員：スポーツとレクリエーションを通して、関係づくりをする団体。誰かが誘いに行かないと行けない人が多い。ついでに誘うことが大切なので、参加するときについでに声をかけてもらうようにしている。

シニア世代の方の肯定は、子ども達に自信と元気を与える。高校生、20代から30代も参加できる居場所にできたらと考えている。

委員：歯科衛生士会として、口腔機能の向上の周知をしている。お口のケア訪問支援事業が4月から始まっているので、65歳以上の方が無料で歯科衛生士による口腔ケア指導が受けられる事業ということをやマナー

ヤー、一般向けに周知していきたい。

会 長：子どもから高齢者までみんなが幅広く、健康に地域でつながる活動を進められるよう各団体に協力をお願いします。

事務局：次回の会議は、各団体の活動報告、進捗状況報告を来年2月を目途に予定している。